

第131回

2017. 11. 16

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業307社、回答企業188社、回答率61.2%
調査対象期間	2017年7～9月期の実績、10～12月期および2018年1～3月期の予想
調査時点	2017年10月上旬～下旬

要約

2017年7～9月期の業況判断は悪化 10～12月期は改善するが、明年1～3月期は再び悪化の見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断BSIについて、2017年4～6月期と比べ7～9月期(前期→当期: $\Delta 11 \rightarrow \Delta 18$)は悪化した。前回調査時の予想($\Delta 13$)と比べても、悪化している。業種別でも、製造業(同: $\Delta 10 \rightarrow \Delta 19$)、非製造業(同: $\Delta 11 \rightarrow \Delta 18$)ともに悪化した。

先行きについて、10～12月期の業況判断(1)は、悪化を予想する企業の比率が低下することなどから、改善する見通し。一方、明年1～3月期の業況判断($\Delta 11$)は再び悪化する見通しである。

7～9月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期からやや上昇し、総投資額も製造業、非製造業ともに増加したことから、前年同期比36.5%増の約196億円となった。先行き10～12月期の計画は、実施企業の比率は前年同期とほぼ横ばいであり、金額も同0.3%増の見込みとなっている。

今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業が改善した一方、非製造業は悪化している。

1. 概況 (全産業)

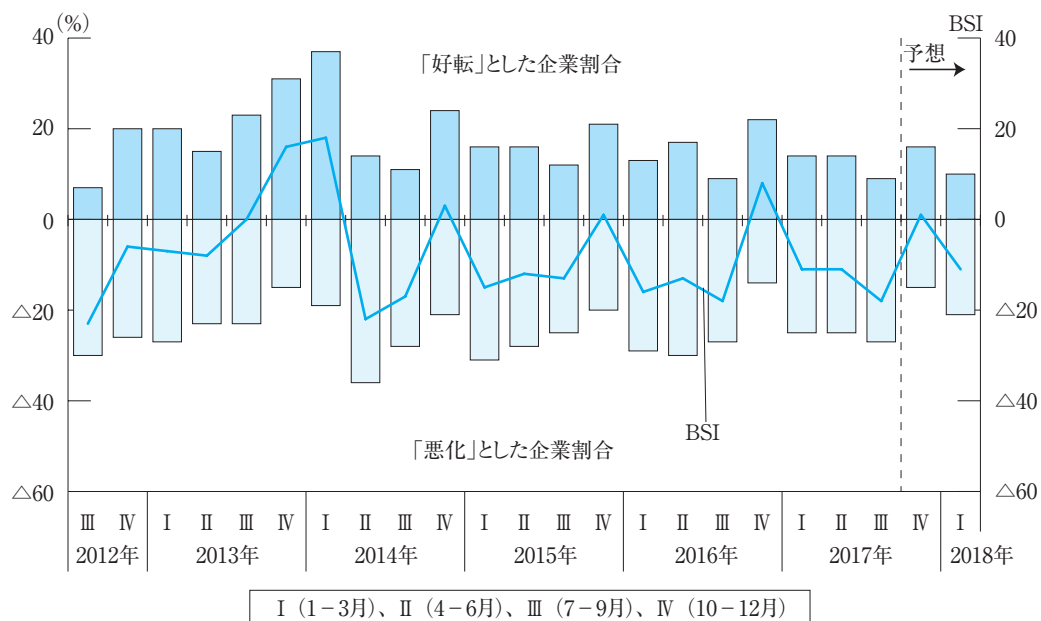
【2017年7～9月期の実績】 業況判断は悪化し、前回調査時と比べもやや悪化

県内企業の当期(2017年7～9月期、以下同じ)の業況判断は、前期と比べ、好転の比率が低下したことを主因に、全体として悪化した。

B S I (業況が「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値)でみると、前期に比べ、売上げB S I ($\Delta 4 \rightarrow \Delta 1$ (前回調査時の予想 $\Delta 1$))はやや改善、収益B S I ($\Delta 14 \rightarrow \Delta 8$ (同 $\Delta 11$))も改善の一方、業況判断B S I ($\Delta 11 \rightarrow \Delta 18$ (同 $\Delta 13$))は悪化した。

7～9月期の業況判断B S Iを2012年からみると、 $\Delta 23 \rightarrow 0 \rightarrow \Delta 17 \rightarrow \Delta 13 \rightarrow \Delta 18 \rightarrow \Delta 18$ (今回)となっている。県内景気は一部に持ち直しの兆しを見せる中、業績が回復しているものの依然として満足できていない企業の多いことが示されている。

企業経営者による業況判断



— 図の見方 —

- ① アンケートでは、売上げ、経常利益、業況の各項目について、前期に比べて「好転(増加)」「不変」「悪化(減少)」の回答を求めており、B S Iはこのうち「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を差し引いた値です。
- ② このB S Iから、「売上げが何%伸びたか」など計数的な測定はできませんが、景気の転換点(景気の山、谷)や「好転感が県内の各企業にどの程度広がっているか」といった「浸透度」をみるのが可能です。
- ③ 前期比は季節性が入りやすいので、前年同期と比較することも必要です。

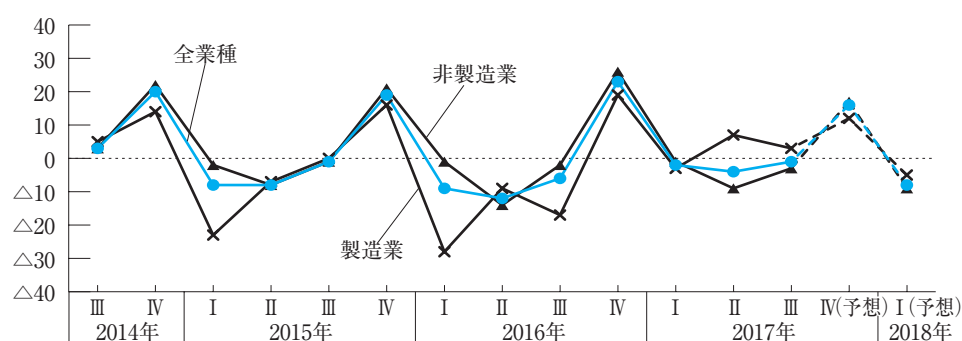
【2017年10～12月期の予想】 業況判断は改善する見通し

10～12月期の予想は、7～9月期に比べ売上げBSI ($\Delta 1 \rightarrow 16$)、収益BSI ($\Delta 8 \rightarrow 10$)、業況判断BSI ($\Delta 18 \rightarrow 1$)はともに改善する見通しである。もっとも、この業況判断BSIは、前年同期実績(8)を下回っている。

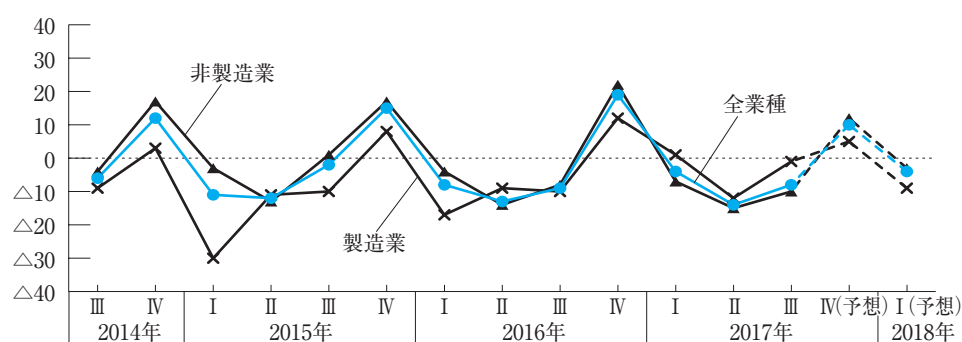
【2018年1～3月期の予想】 業況判断は悪化する見通し

明年1～3月期の予想は、10～12月期に比べ、売上げBSI ($16 \rightarrow \Delta 8$)、収益BSI ($10 \rightarrow \Delta 4$)、業況判断BSI ($1 \rightarrow \Delta 11$)はともに悪化する見通し。また、この業況判断BSIは前年同期実績($\Delta 11$)と比べ横ばいとなっている。

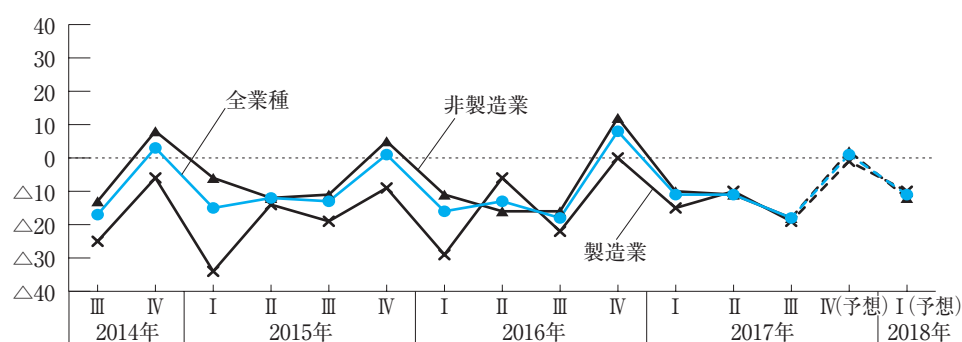
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

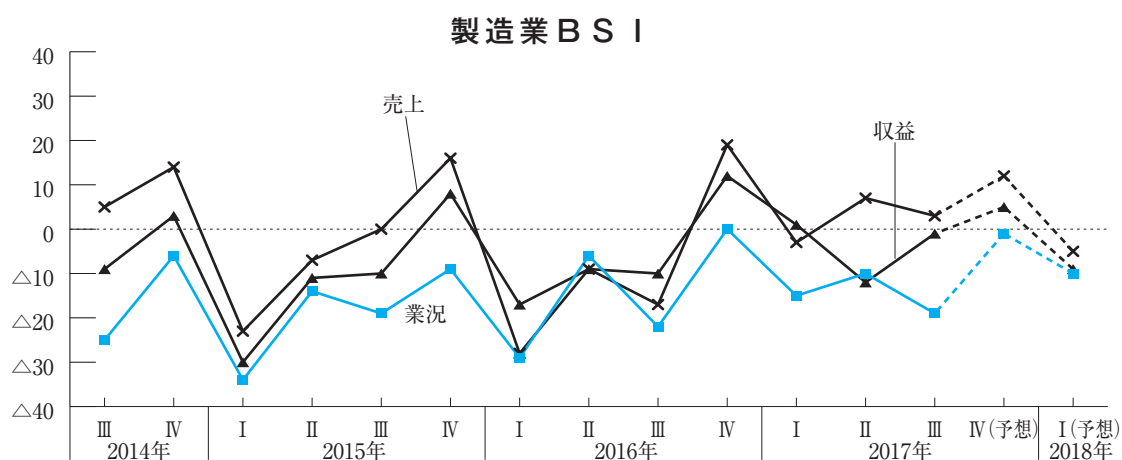
【製造業の現状】 業況判断は悪化

前期に比べ、収益BSI ($\Delta 12 \rightarrow \Delta 1$ (前回調査時の予想 $\Delta 9$))は改善の一方、売上げBSI ($7 \rightarrow 3$ (同 0))はやや悪化、業況判断BSI ($\Delta 10 \rightarrow \Delta 19$ (同 $\Delta 15$))は悪化となった。もっとも、前年同期と比べると、売上げBSI ($\Delta 17 \rightarrow 3$)、収益BSI ($\Delta 10 \rightarrow \Delta 1$)は改善、業況判断BSI ($\Delta 22 \rightarrow \Delta 19$)もやや改善している。

【先 行 き】 業況判断は10~12月期は改善の一方、明年1~3月期は悪化する見通し

10~12月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI ($3 \rightarrow 12$)、収益BSI ($\Delta 1 \rightarrow 5$)、業況判断BSI ($\Delta 19 \rightarrow \Delta 1$)はともに改善する見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期(0)よりも1ポイントだけ下回っている。

明年1~3月期の予想は、10~12月期予想に比べ、売上げBSI ($12 \rightarrow \Delta 5$)、収益BSI ($5 \rightarrow \Delta 9$)、業況判断BSI ($\Delta 1 \rightarrow \Delta 10$)はともに悪化する見通し。もっとも、この業況判断BSIの予想は、前年同期($\Delta 15$)よりも改善している。



3. 非製造業の動向

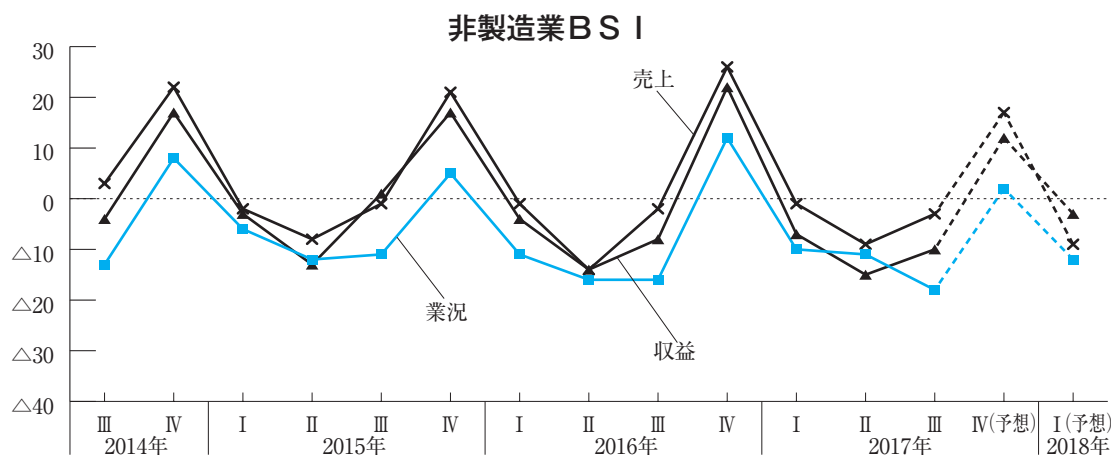
【非製造業の現状】 業況判断は悪化

前期に比べ、売上げBSI ($\Delta 9 \rightarrow \Delta 3$ (前回調査時の予想 $\Delta 2$))、収益BSI ($\Delta 15 \rightarrow \Delta 10$ (同 $\Delta 13$))、業況判断BSI ($\Delta 11 \rightarrow \Delta 18$ (同 $\Delta 12$))はともに悪化した。前年同期と比べると、売上げBSI ($\Delta 2 \rightarrow \Delta 3$)、収益BSI ($\Delta 8 \rightarrow \Delta 10$)、業況判断BSI ($\Delta 16 \rightarrow \Delta 18$)はともに横ばいとなっている。

【先 行 き】 業況判断は10~12月期は改善の一方、明年1~3月期は悪化の見通し

10~12月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI ($\Delta 3 \rightarrow 17$)、収益BSI ($\Delta 10 \rightarrow 12$)、業況判断BSI ($\Delta 18 \rightarrow 2$)はともに改善する見通し。もっとも、この業況判断BSIの予想は、前年同期(12)よりも10ポイント下回っている。

明年1~3月期の予想は、10~12月期予想に比べ、売上げBSI ($17 \rightarrow \Delta 9$)、収益BSI ($12 \rightarrow \Delta 3$)、業況判断BSI ($2 \rightarrow \Delta 12$)はともに悪化する見通し。この業況判断BSIは、前年同期($\Delta 10$)と比べほぼ横ばいとなっている。

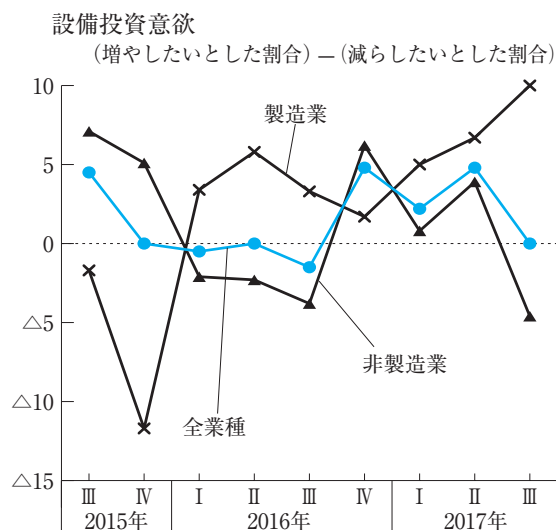


4. 設備投資の動向

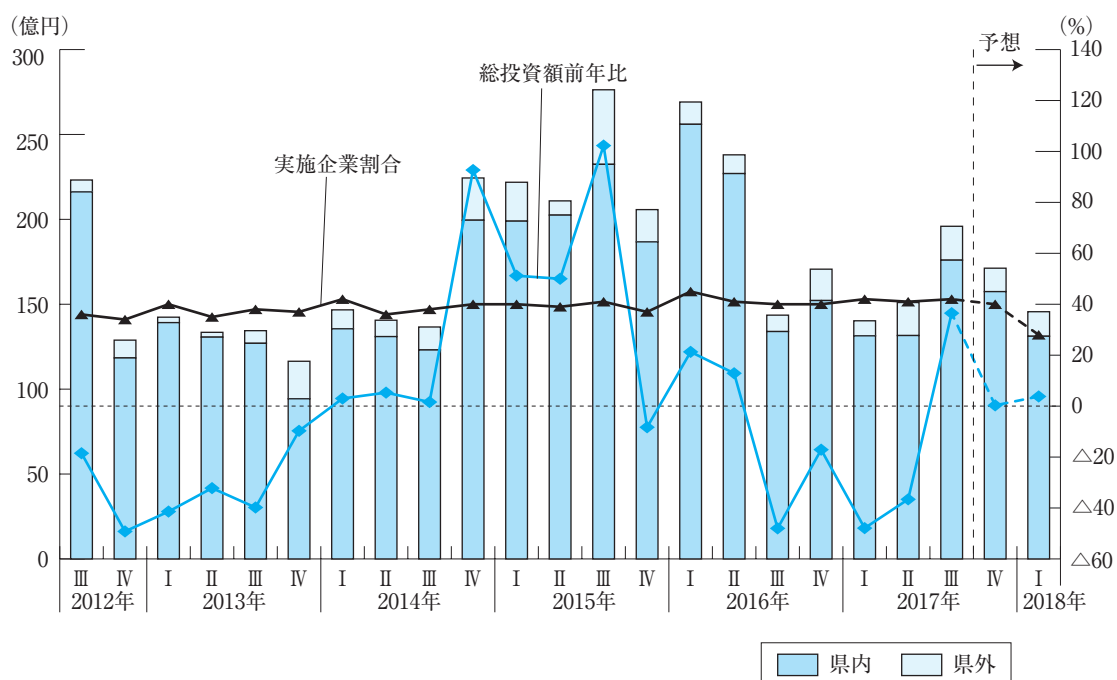
回答企業(全産業)のうち、2017年7~9月期において1百万円以上の設備投資(新規リース契約を含む)を実施した企業は全体の42.0%、総投資額は195億円92百万円(うち県内投資額は175億97百万円)であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業、非製造業とも増加したことから、全体では36.5%増となった(前期比でも29.7%増)。また、実施企業の割合は1.9ポイント上昇した。

先行きの計画をみると、10~12月期の実施企業割合は39.9%で前年同期とほぼ横ばい、総投資額も約171億円で前年同期比0.3%増に留まる見込み。明年1~3月期の総投資額は、約146億円で同3.8%増の見込みである。

今後1年間の設備投資意欲(全産業)は、「増やしたい」、「減らしたい」とも14.4%、「ほぼ変わらない」が71.3%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率(± 0.0 ポイント)は、前期(+4.8ポイント)と比べ低下している。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、53.3%で前年同期より6.7ポイント上昇した。総投資額も、143億48百万円(前年同期122億85百万円)で化学を中心に前年同期比16.8%増となった。うち、県内投資額は129億81百万円(同117億38百万円)となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」の比率が低下した一方、「増産・拡販のため」、「合理化・省力化」は上昇した。

先行きの計画については、10～12月期の総投資額は約144億円で前年同期比1.6%減、明年10～12月期は約129億円で同2.4%増の見込みである。

今後1年間の投資意欲について、先行き「増やしたい」とする企業割合(23.3%)が「減らしたい」とする企業割合(13.3%)を10.0ポイント上回り、この差は3期連続で拡大している。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、36.7%で前年同期より0.4ポイント低下した。総投資額は52億44百万円(前年同期20億73百万円)で、運送業での大幅な増加を主因に、前年同期比153.0%増となった。県内投資額は46億16百万円(同16億55百万円)となっている。

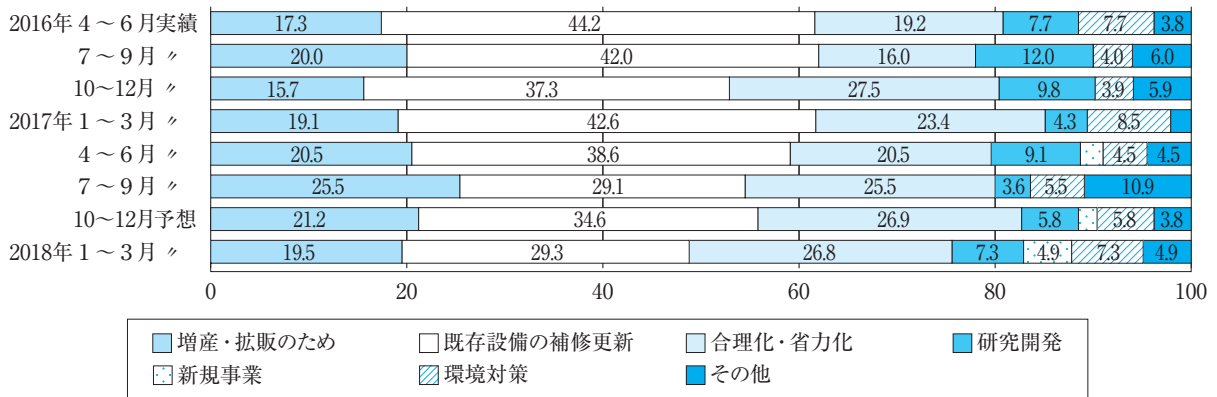
目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」がやや上昇し、「拡販のため」、「合理化・省力化」はほぼ横ばいとなった。

先行きの計画は、10～12月期の総投資額は約27億円で前年同期比11.8%増、明年1～3月期も約17億円で同15.5%増となる見込みである。

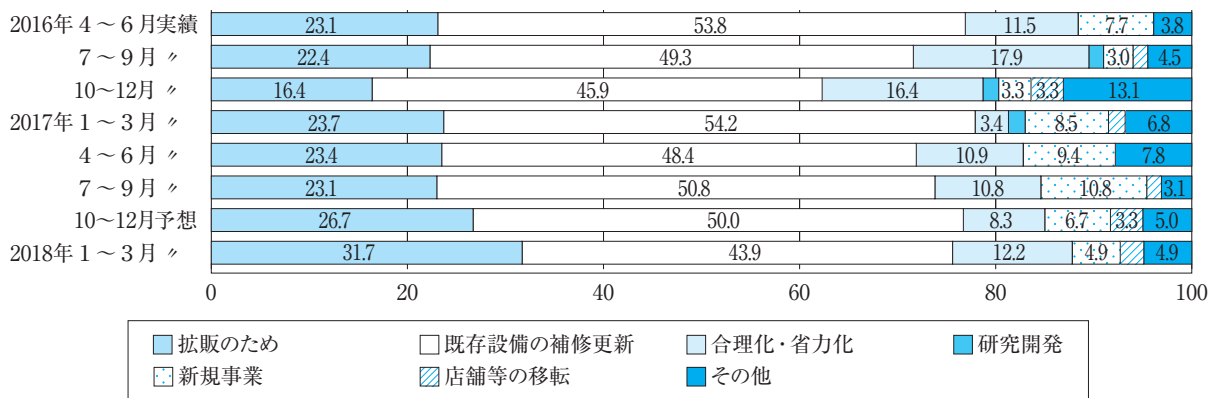
今後1年間の投資意欲は、先行き「増やしたい」とする企業割合(10.2%)が「減らしたい」とする企業割合(14.8%)を4.6ポイント下回り、2期ぶりに低下した。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)			(社)		
		総数	製造業	非製造業	業種	回答	
資本金規模	1百万円未満	1	1	0	製造業	食料品	6
	1～3百万円未満	1	1	0		繊維製品	4
	3～5百万円未満	4	0	4		木材・木製品	11
	5～10百万円未満	2	0	2		パルプ・紙	3
	10～50百万円未満	104	29	75		化学工業	6
	50～1億円未満	45	18	27		窯業・土石	6
	1億円以上	31	11	20		機械・金属	17
	計	188	60	128		その他	7
従業員数	10人未満	19	6	13	計	60	
	10～30人未満	40	12	28	非製造業	建設業	17
	30～50人未満	36	8	28		運送業	11
	50～100人未満	30	6	24		卸売業	36
	100～200人未満	31	10	21		小売業	25
	200～300人未満	14	8	6		サービス業	38
	300～	18	10	8		その他	1
	計	188	60	128		計	128
					総数	188	

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2016年1～3月実績	13	58	29	△16	7	57	36	△29	16	57	27	△11
4～6月々	17	53	30	△13	19	56	25	△6	16	52	32	△16
7～9月々	9	64	27	△18	8	62	30	△22	9	66	25	△16
10～12月々	22	64	14	8	19	62	19	0	24	64	12	12
2017年1～3月々	14	61	25	△11	15	55	30	△15	13	64	23	△10
4～6月々	14	61	25	△11	10	70	20	△10	16	57	27	△11
7～9月々	9	64	27	△18	8	65	27	△19	9	64	27	△18
10～12月予想	16	69	15	1	12	75	13	△1	18	66	16	2
2018年1～3月々	10	69	21	△11	8	74	18	△10	10	68	22	△12

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2016年1～3月実績	28	35	37	△9	19	34	47	△28	32	35	33	△1
4～6月々	27	34	39	△12	29	33	38	△9	26	34	40	△14
7～9月々	26	42	32	△6	20	43	37	△17	28	42	30	△2
10～12月々	43	37	20	23	40	39	21	19	45	36	19	26
2017年1～3月々	28	42	30	△2	27	43	30	△3	29	41	30	△1
4～6月々	30	36	34	△4	32	43	25	7	29	33	38	△9
7～9月々	28	43	29	△1	30	43	27	3	27	43	30	△3
10～12月予想	32	52	16	16	27	58	15	12	34	49	17	17
2018年1～3月々	18	56	26	△8	15	65	20	△5	20	51	29	△9

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2016年1～3月実績	26	40	34	△8	20	43	37	△17	29	38	33	△4
4～6月々	26	35	39	△13	29	33	38	△9	25	36	39	△14
7～9月々	25	41	34	△9	25	40	35	△10	25	42	33	△8
10～12月々	41	37	22	19	36	40	24	12	43	36	21	22
2017年1～3月々	27	42	31	△4	28	45	27	1	26	41	33	△7
4～6月々	22	42	36	△14	20	48	32	△12	23	39	38	△15
7～9月々	23	46	31	△8	27	45	28	△1	22	46	32	△10
10～12月予想	29	52	19	10	23	59	18	5	31	50	19	12
2018年1～3月々	20	56	24	△4	13	65	22	△9	23	51	26	△3

(注) B S I = (好転) - (悪化)